

2010年福岡市長選挙 候補者アンケート
子どもの医療費および予防接種の助成拡大についてのアンケート
予定候補 様

下記質問にお答え下さい。なお、お選びになった理由もあわせてご記入いただければ幸いです。

子どもの医療費助成制度について

【質問1】

少子化対策の一環として子どもの医療費の助成範囲をどこまでにすればよいとお考えですか。

高校卒業まで 中学校卒業まで 小学校卒業まで 現状のまま

その理由をお書き下さい。

()

【質問2】

東京都をはじめ、全国各地で中学校卒業までの医療費助成が行われる自治体が増えてきました。

福岡市での中学校卒業までの入通院の医療費の完全無料化を実現していただけますか。

実現する これ以上必要ない その他

その理由をお書き下さい。

()

【質問3】

選挙公約として、福岡市の子どもの医療費助成拡大を掲げていただけますか。

掲げます 公約の主な内容をお書き下さい。

()

掲げません その理由をお書き下さい。

()

【質問4】

子どもの医療費助成制度を国の制度として中学校卒業まで無料化することについて、国に対する意見書をあげていただけますか。

意見書をあげる 意見書をあげない

その理由をお書き下さい。

()

【質問5】

子ども病院の人工島への移転問題についてお尋ねします。市長に当選された場合は...

推進する 反対する

その理由をお書き下さい。

()

予防接種の助成について

【質問6】

ジフテリアや百日ぜきなどの予防接種は国の制度として無料化されています。

ところが脳への重い障害を残す細菌性髄膜炎のワクチン（肺炎球菌ワクチン、ヒブワクチン）は任意接種であるため全額自己負担（1回1万円前後、4回必要）であることからなかなか接種率が上がりません。重度の障害が残った場合、医療費を含め家族の負担ははかり知れません。

同様に社会問題になっている子宮頸がんにも極めて有効なワクチンも（1回2万円前後、3回必要）任意接種であるため接種率が伸びていません。12歳の女子に接種すれば、約190億円の医療費削減になる試算もあります。これら3つのワクチン（肺炎球菌ワクチン、ヒブワクチン、子宮頸がんワクチン）接種への助成をしていただけませんか。

助成する 助成しない その他

その理由をお書き下さい。

()

懇談について

【質問7】

今後、機会があればご懇談いただけますか。

懇談する 懇談できない

F A X 番 号
092-473-7182

2010年9月吉日
ふくおか子どもの医療を守る会
〒812-0016 福岡市博多区博多駅南1-2-3
博多駅前第一ビル8階 福岡県歯科保険医協会内
TEL 092-473-5646